

鳥居龍蔵の愛知調査関連資料

岡本 治代

はじめに

鳥居龍蔵は、愛知県史編纂の委嘱を受け（鳥居 1929a:53）、昭和4年（1929）から5年にかけて、愛知県内の貝塚や古墳、巨石遺跡などの調査を行った。

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館は、この調査に関連する遺物の拓本・スケッチ等を所蔵している。本稿では、このうち、古代瓦の拓本を紹介し、鳥居による愛知調査の足跡をたどる一助としたい。

1 資料の概要

本稿では、24点の拓本を紹介する。奈良時代から平安時代の瓦と埴の拓本であり、余白部分には、出土地や寄贈者名が注記されている。これを現在の地名・遺跡名と対照させ、一覧にしたものが表1である。

表1 拓本の概要

図版番号	資料名	注記	推定される出土遺跡	所在地 (現在の地名)	備考
2	単弁八葉蓮華文軒丸瓦	国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
3	単弁八葉蓮華文軒丸瓦	三河国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
4	単弁六葉蓮華文軒丸瓦	三河国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
5	素弁十葉蓮華文軒丸瓦	国分寺 粕谷氏	三河国分寺跡	豊川市	
6	均整唐草文軒平瓦	三河国分寺 粕谷氏 寄贈	三河国分寺跡	豊川市	
7	均整唐草文軒平瓦	三河国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
8	均整唐草文軒平瓦	三河国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
9	飛雲文軒平瓦	三河 国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
10	飛雲文軒平瓦	国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
11	飛雲文軒平瓦	三河国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
12	均整唐草文軒平瓦	三河 国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
13	均整唐草文軒平瓦	三河 国分寺	三河国分寺跡	豊川市	
14	均整唐草文軒平瓦	三河尼寺	三河国分尼寺跡	豊川市	
15	埴	国分尼寺 敷瓦	三河国分尼寺跡	豊川市	
16	埴	国分尼寺 敷瓦	三河国分尼寺跡	豊川市	
17	素弁八葉蓮華文軒丸瓦	尼寺 清光寺（要）	三河国分尼寺跡	豊川市	清光寺は国分尼寺の敷地内に所在する。
18	素弁八葉蓮華文軒丸瓦	尼寺 清光寺（要）	三河国分尼寺跡	豊川市	
19	単弁八葉蓮華文軒丸瓦	国府町 粕谷重雄氏 寄贈 宝飯郡 国府白鳥 總社	白鳥総社（三河総社）	豊川市	
20	素弁八葉蓮華文軒丸瓦	粕屋氏 白鳥參河 總社	白鳥総社（三河総社）	豊川市	
21	平瓦	丹波郡桑田村二宮神宮寺跡 表 厚九分 裏	神宮司跡	犬山市	
22	複弁八葉蓮華文軒丸瓦	神護寺跡	?	犬山市?	犬山市角池遺跡などで出土している型式。
23	複弁八葉蓮華文軒丸瓦	神護寺跡より	?	犬山市?	
24	複弁八葉蓮華文軒丸瓦	—	?	犬山市?	
25	複弁八葉蓮華文軒丸瓦	—	?	犬山市?	

注記や瓦の型式を見ると、三河国分寺跡・国分尼寺跡、白鳥総社（三河総社）といった、愛知県豊川市三河国分寺周辺の遺跡・社寺から出土した資料が大半を占めていることがわかる。また、これらの拓本の中には、粕谷重雄氏から寄贈されたものであることが記されているものもある。

その他の、「丹波郡楽田村二宮神宮司跡」と注記されているものや、出土地の注記はないものの犬山市角池遺跡などで出土している瓦と同型式の瓦の拓本は、犬山での調査に関連する資料であろう。

2 鳥居龍蔵の愛知調査と本資料の位置づけ

現在確認できている限りでは、鳥居は、①昭和4年11月15日～11月23日（鳥居 1929b）、②昭和4年12月8日～10日（東京考古学会編 1930、鳥居 1929c）、③昭和4年12月24日～25日（鳥居 1929c、1930a）、④昭和5年4月27日～5月3日（鳥居 1930b）の4回にわたって愛知県内で調査を行っている。また、これ以外にも、講演のため愛知県を訪れている（鳥居 1929a）。

このうち第1回調査では、犬山、小牧、西尾、岡崎、豊橋、豊川などを訪れ、丹波郡（現犬山市）二宮神社付近や、三河国分寺・国分尼寺の踏査などを行っている。さらに、三河国分寺・国分尼寺踏査の際には、夜間に拓本を作成している（鳥居 1929b）。先述したように、本稿で紹介する拓本は、犬山市や三河国分寺・国分尼寺周辺で出土している瓦の拓本であることから、この第1回の調査時に作成、もしくは収集された可能性が高い。

また、拓本の寄贈者である粕谷重雄氏については、第1回調査の概要が記録されている「尾参通信」（鳥居 1929b）には記載されていないものの、このような在地の人々の協力のもと、愛知県内での調査が進められたことがわかる。

謝 辞

本稿を執筆するにあたり、鳥居喬氏に文献収集にご協力いただくとともに、多くのご教示を賜りました。末筆ながら心よりお礼申し上げます。

参考文献

- 蔭山誠一・武部真木・古橋佳子 1997 「愛知県」『古代寺院の出現とその背景』埋蔵文化財研究会 第42回研究集会実行委員会
- 梶山勝 1997 「西三河の古代寺院 — 北野廃寺系軒丸瓦を中心として —」『愛知県史研究』創刊号、愛知県
- 梶原義実 2007 「尾張・三河地域における奈良時代の古瓦」『愛知県史研究』第11号、愛知県
- 梶原義実 2010 「東海地方の国分寺における造瓦組織と瓦当文様」『国分寺瓦の研究 — 考古学からみた律令期生産組織の地方的展開 —』名古屋大学出版会
- 鳥居龍蔵 1929a 「愛知縣の上代史蹟を訪ひて」『愛知教育』第495号、愛知教育会
- 鳥居龍蔵 1929b 「尾参通信」『武蔵野』第14巻第5号、誠志堂印刷出版部
- 鳥居龍蔵 1929c 「尾張の旅より」『武蔵野』第14巻第6号、誠志堂印刷出版部
- 鳥居龍蔵 1930a 「尾張の二日間」『武蔵野』第15巻第3号、誠志堂印刷出版部
- 鳥居龍蔵 1930b 「三河通信」『武蔵野』第15巻第5号、誠志堂印刷出版部
- 東京考古学会編 1930 「学会消息」『考古学』第1巻第1号、示人社版
- 永井邦仁 2014 「愛知県における中世瓦の展開とその特徴」『研究紀要』第15号、愛知県埋蔵文化財センター



1. 清光寺 2. 三河国分尼寺跡 3. 三河国分寺跡 4. 三河総社 (白鳥総社)

※国土地理院 2万5千分の1 地形図をもとに作成

図1 三河国分寺跡周辺の鳥居龍蔵関連遺跡・社寺



図2 単弁八葉蓮華文軒丸瓦



图3 单弁八葉蓮華文軒丸瓦



图4 单弁六葉蓮華文軒丸瓦

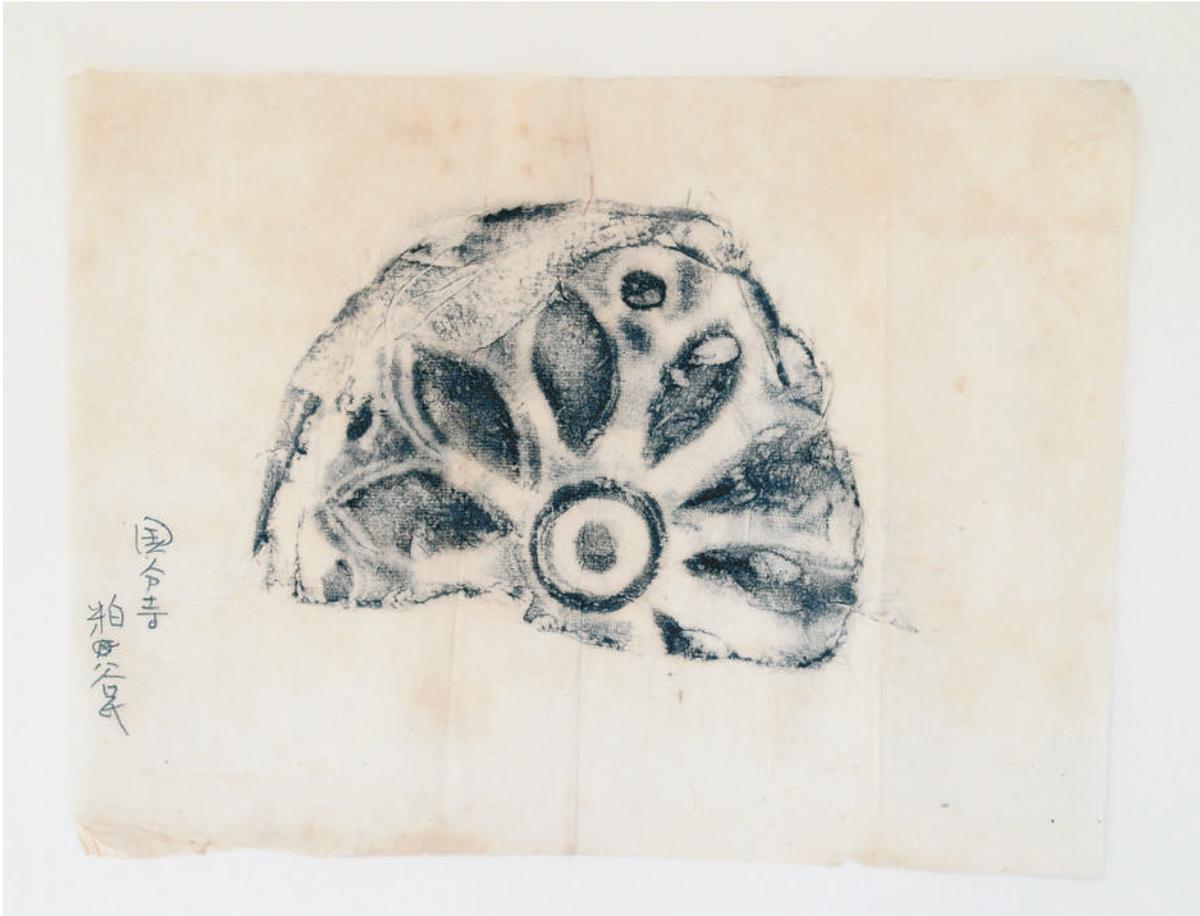


図5 素弁十葉蓮華文軒丸瓦



図6 均整唐草文軒平瓦



図7 均整唐草文軒平瓦



図8 均整唐草文軒平瓦

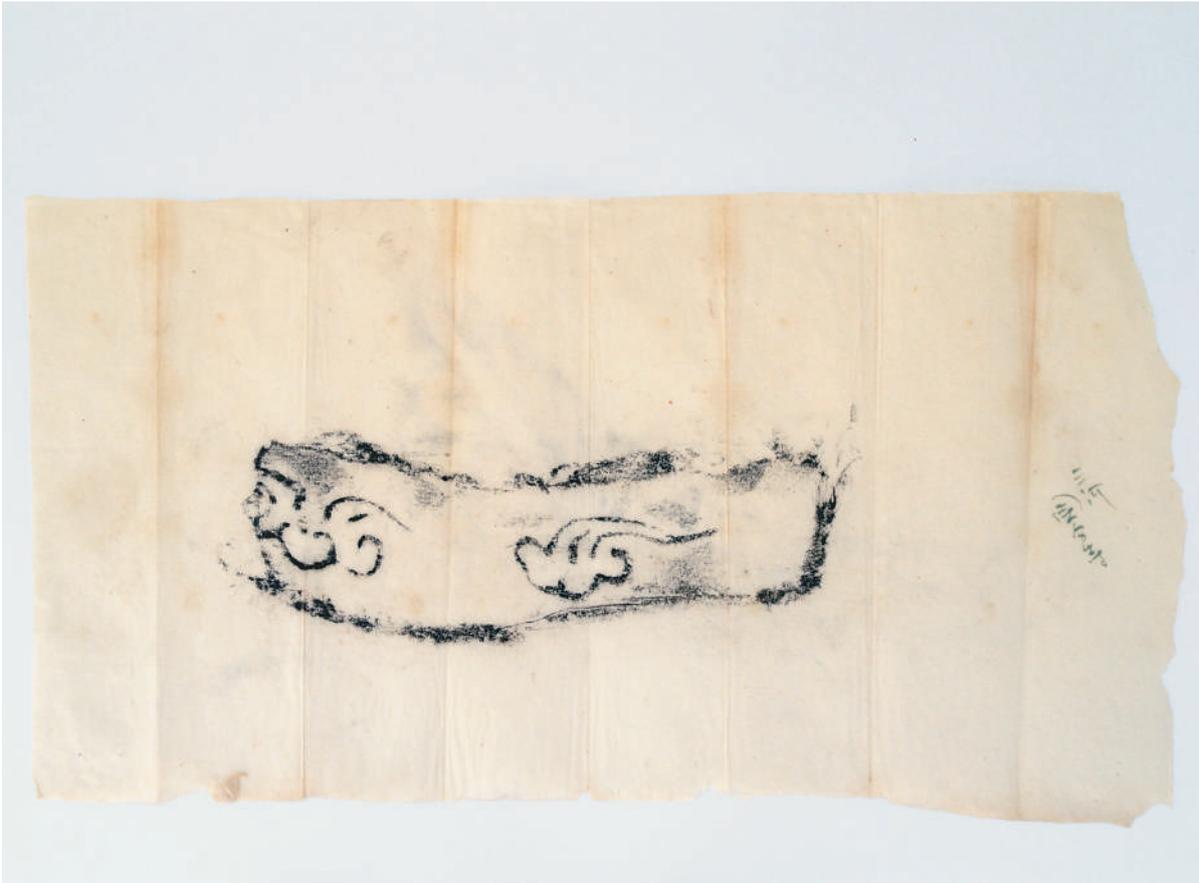


図9 飛雲文軒平瓦



図10 飛雲文軒平瓦



図11 飛雲文軒平瓦



図12 均整唐草文軒平瓦



図13 均整唐草文軒平瓦



図14 均整唐草文軒平瓦



図15 博

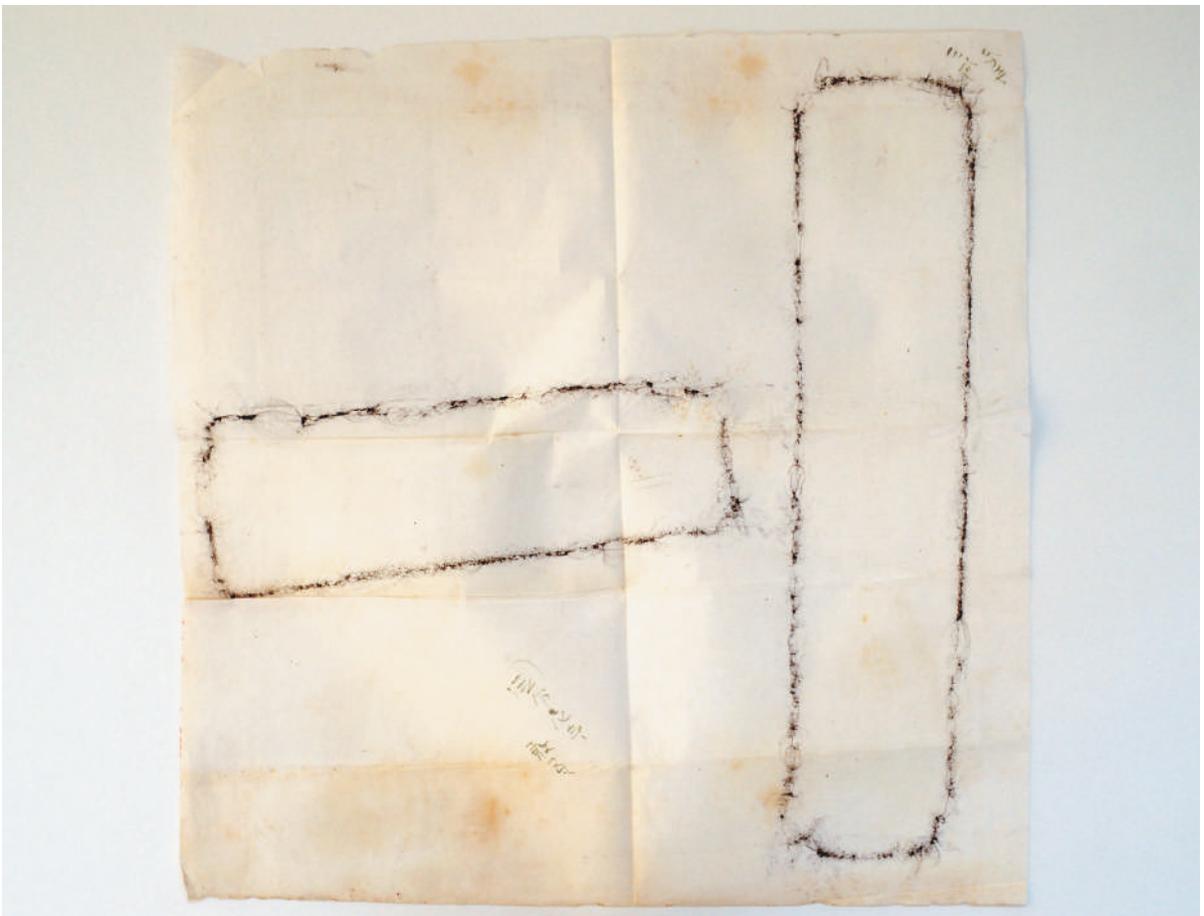


図16 博



図17 素弁八葉蓮華文軒丸瓦

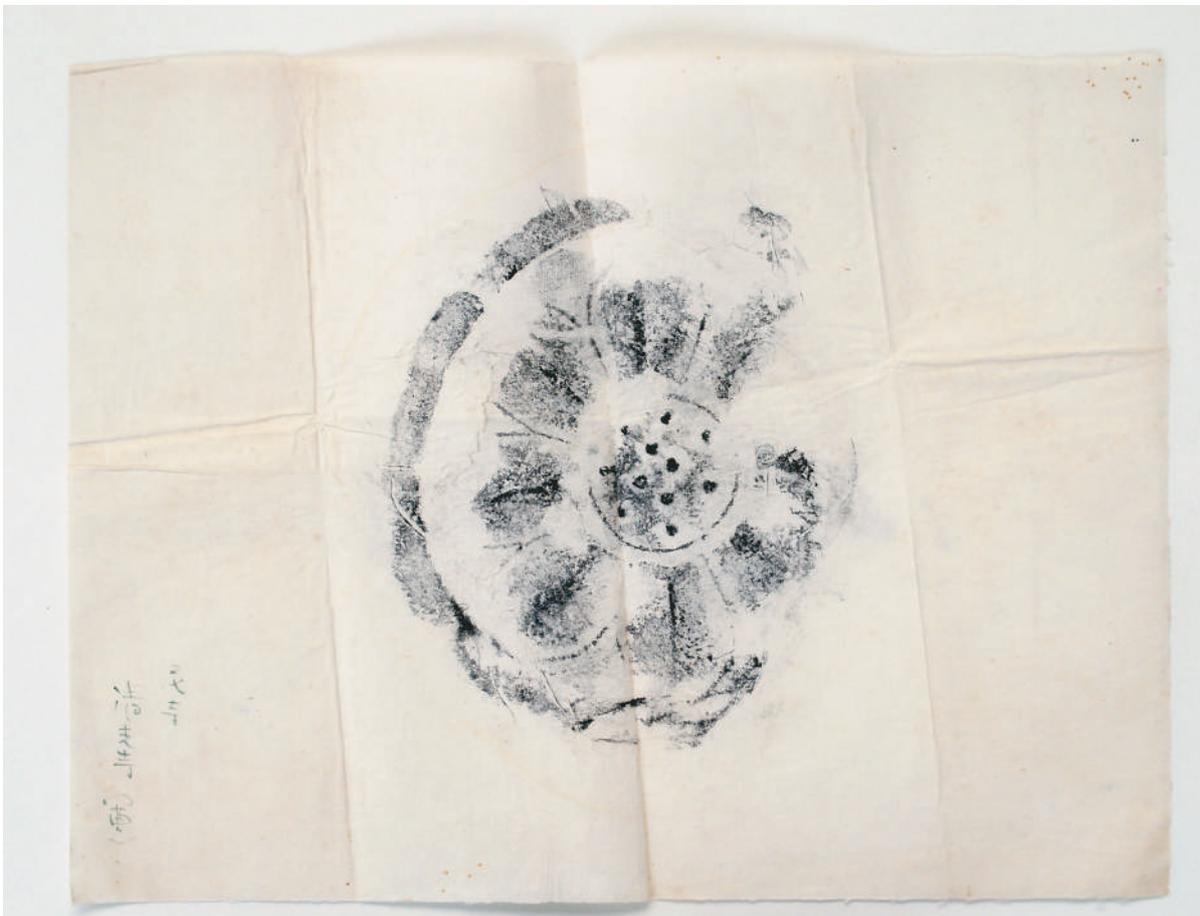


図18 素弁八葉蓮華文軒丸瓦



図19 単弁八葉蓮華文軒丸瓦



図20 素弁八葉蓮華文軒丸瓦

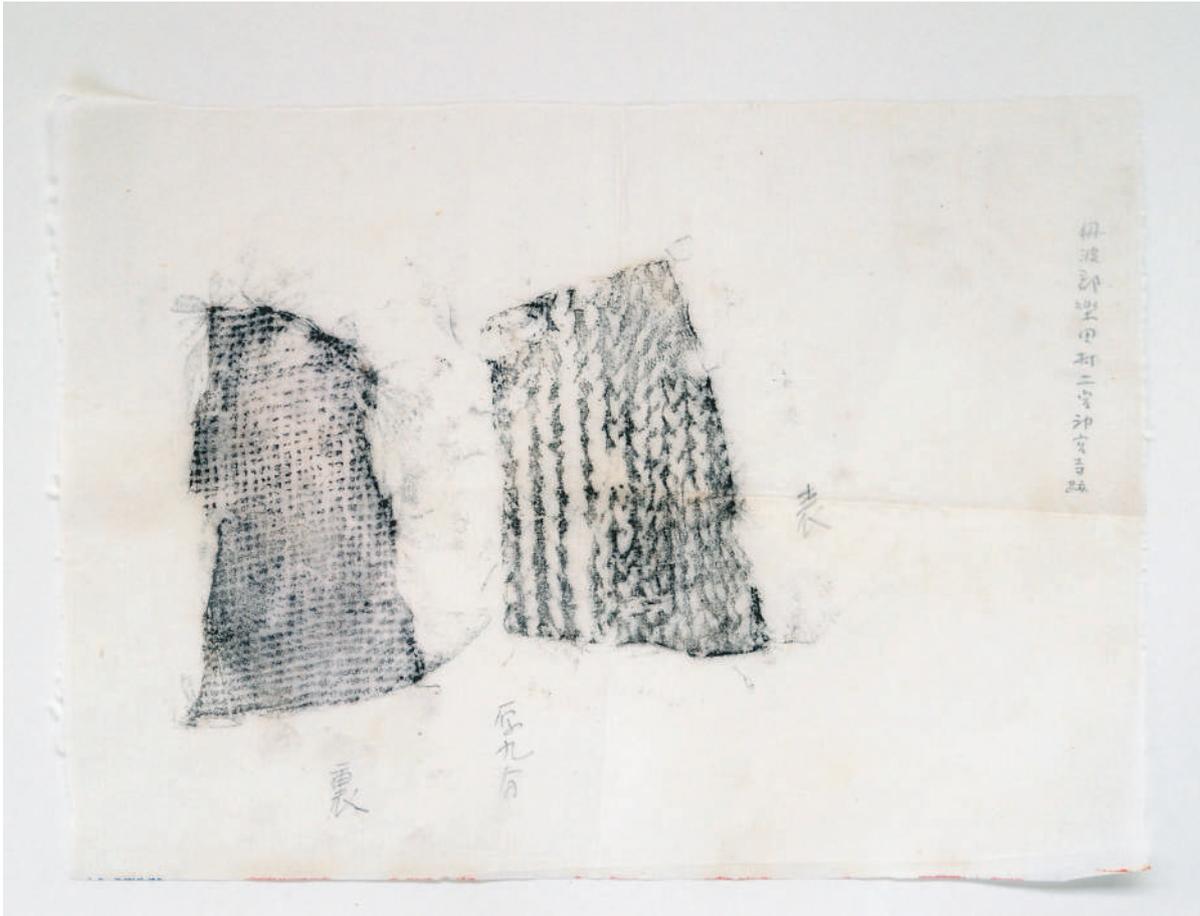


図21 平瓦



図22 複弁八葉蓮華文軒丸瓦

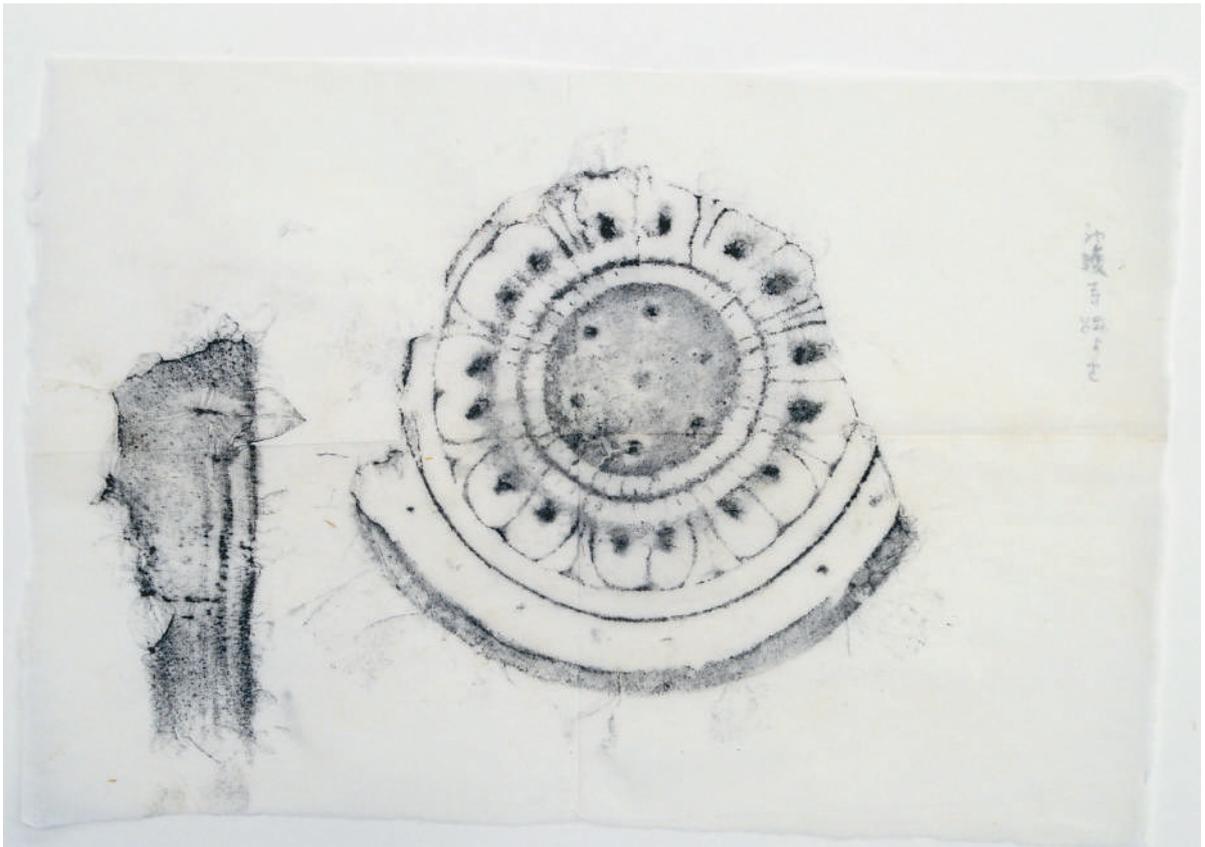


図23 複弁八葉蓮華文軒丸瓦

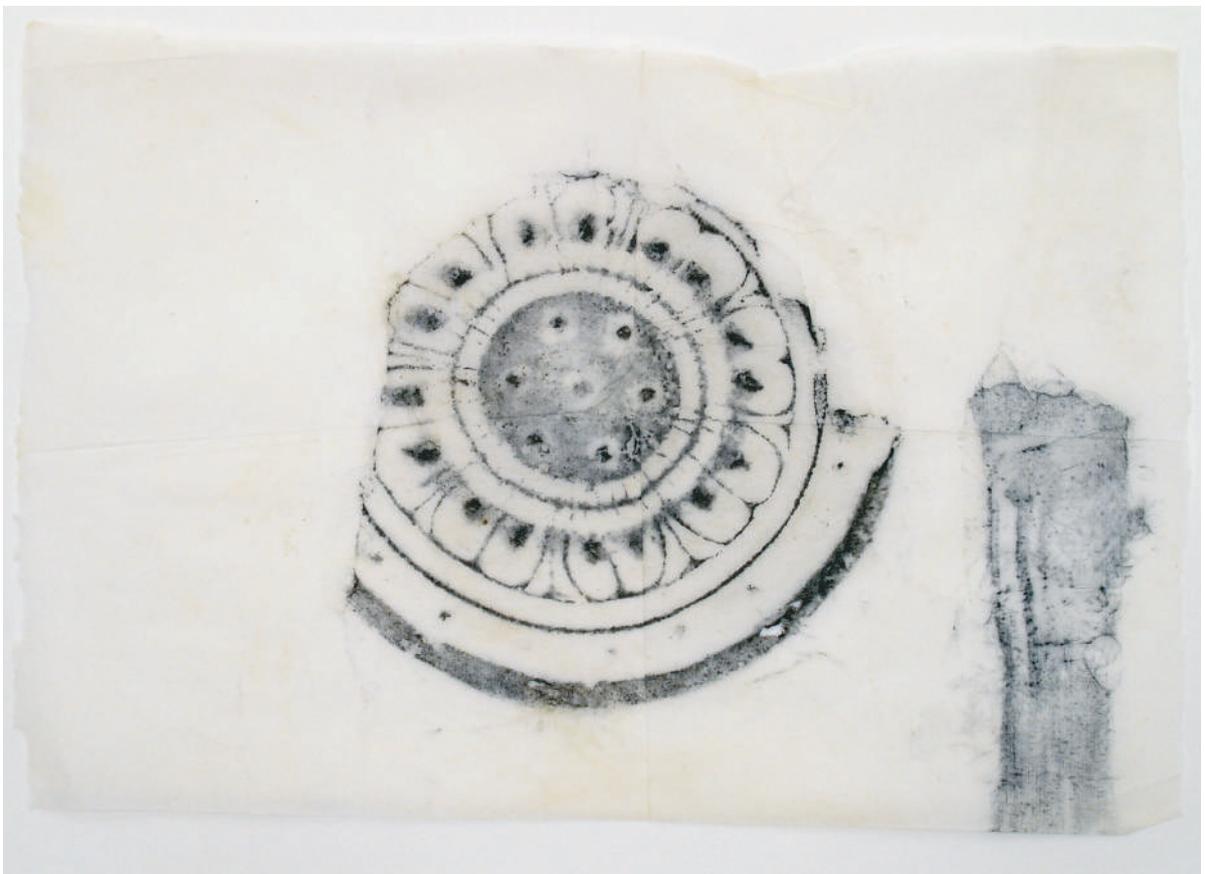


図24 複弁八葉蓮華文軒丸瓦

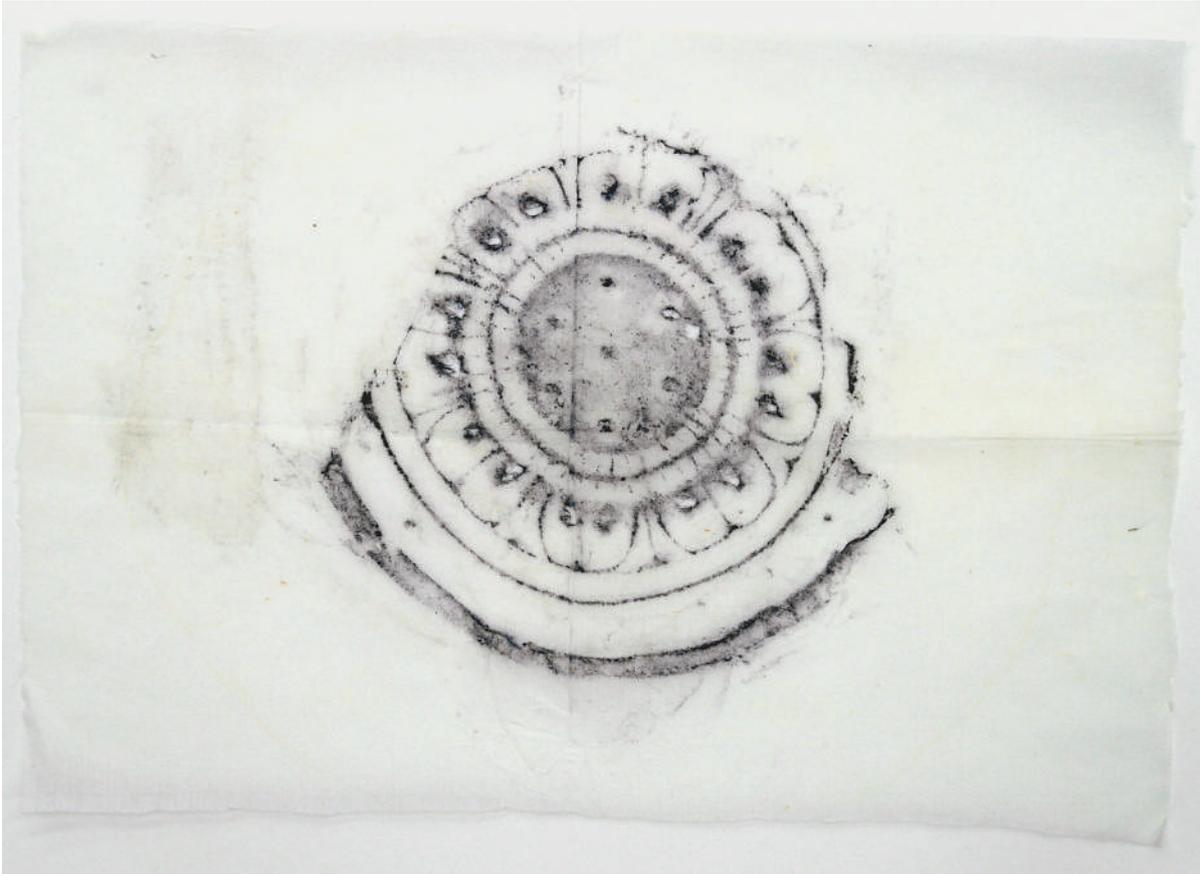


図25 複弁八葉蓮華文軒丸瓦

